

いきいき まえばし人



「ラクダのキャメルン空を飛ぶ」の作者
関口 恵子さん・46歳
(絵本作家・空羽 ファティマさん)
荒牧町

命の大切さを伝えていきたい

「愛」と「命」と「希望」をテーマにした「ラクダのキャメルン空を飛ぶ」を出版。ラクダの子、キャメルンが、両親に虹を贈るために旅に出る。そこでたくさんの方達と出会い、互いに助け合いながら、7色の虹を架けることに成功する物語だ。

「虐待やいじめなど、悲しい事件が後を絶たない現代。キャメルンの物語を通して、命の大切さを感じてほしいんです」

41歳で娘を出産し、人生最大の喜びと誇りを得ることができた。毎晩、娘を抱きしめて「生まれてきてくれてありがとう」と語り掛ける。

「子どもに教えることはたくさんあるようだった一つ。あなたの命は尊くかけがえない宝物だということ。自分の命が尊いと知った子は、

友達の命も大切にできるんです」

子ども図書館をはじめ、市内外で朗読会を開催。少しでも子育て中の母親たちの力になりたいと、リラックサするための呼吸法の講習や、命の大切さを伝える講演も行っている。

「育児は想像以上に大変。疲れたときは、まず自分に優しくしてあげてほしい。お母さん自身が心にとゆりを持ち、自信を持つことが大切です。決して自分を責めないで」

ハートを揺さぶる熱いメッセージは、大人から子どもに強く響く。「虐待やいじめ、犯罪のない、互いの命を大切にできる社会をつくりたい。日本を変えたいんです」

これからは持ち前の行動力と温かい心で、多くの人を勇気づけてほしい。

わたしたちの学校 ニュース

素晴らしい環境の中で

生徒会長 中根 衣梨さん

わたしたち粕川中の生徒は、広大な自然と温かい地域の人たちに囲まれた素晴らしい環境の中で学習しています。

そんな本校の自慢は2つあります。1つ目は、地域の人たちとのつながりです。「地域ふれあい学習」では、地域の人たちがアメリカンフットボールや陶芸などの趣味・特技を生かし、わたしたち生徒に優しく教えてくれます。そして、本校伝統の「もちつき大会」。この行事には全校生徒が参加し、ほかの学年の生徒との交流を深めます。もちつきは、1年生が地域の人に教わりながら、田植えから

稲刈りまでの作業を行い、収穫した物を使います。このような地域の人たちとの関係は、ほかの学校に負けない素晴らしいものです。

2つ目の自慢は、生徒の頑張りで、本校のリーダーである生徒会本部役員や代表委員は、粕川中をよりよい学校にするために、年に2回「リーダー研修会」を行っています。本校の課題や解決策を話し合い、粕中生の大本となるよう努めています。また、一人一人が粕中生の自覚を持ち、生徒全員が一丸となって頑張っています。同時に、勉強や部活動にも全力で取り組んでおり、多くの部活動が県大会に出場しています。

そんな生徒が集まる粕川中は、わたしたちの誇りです。これからもこの誇りを胸に、全校を挙げて各活動に取り組んでいきます。



リーダー研修会を生かして



みんなで田植えに挑戦



50万株のツツジが見ごろに

6月7日、赤城山つつじ祭りが大沼湖畔あかぎ広場で開催されました。新鮮な牛乳の無料プレゼント、大ジャンケン大会などを実施。赤城山では7月上旬まで14種類50万株のツツジが見ごろに。ぜひ、お出掛けください。

行政自治委員に市政説明



市と行政のパイプ役である行政自治委員の事務連絡会議を5月29日、総合福祉会館で開催。高木市長や市の担当者が前橋の将来都市像「生命都市いきいき前橋」の実現に向けた施策などを説明しました。

3人の新市議が決定

前橋市議会議員増員選挙（富士見選挙区）を5月31日に行い、即日開票の結果、福島節夫氏、近藤登氏、鈴木俊司氏が当選。投票率は61・19%でした。翌日の当選証書付与式では、三橋彰選挙管理委員会委員長から各新議員に当選証書が手渡されました。

グー・ズ・ア・ップ



施設の魅力を再発見

5月27日、臨江閣や消費生活センター、富士見温泉ふれあい館、ばら園・蚕糸記念館などを巡る市有施設見学会を開催しました。22人が参加し、市民ボランティアや市職員の説明を聞きながら楽しく見学。前橋の歴史と文化を感じる一日となりました。